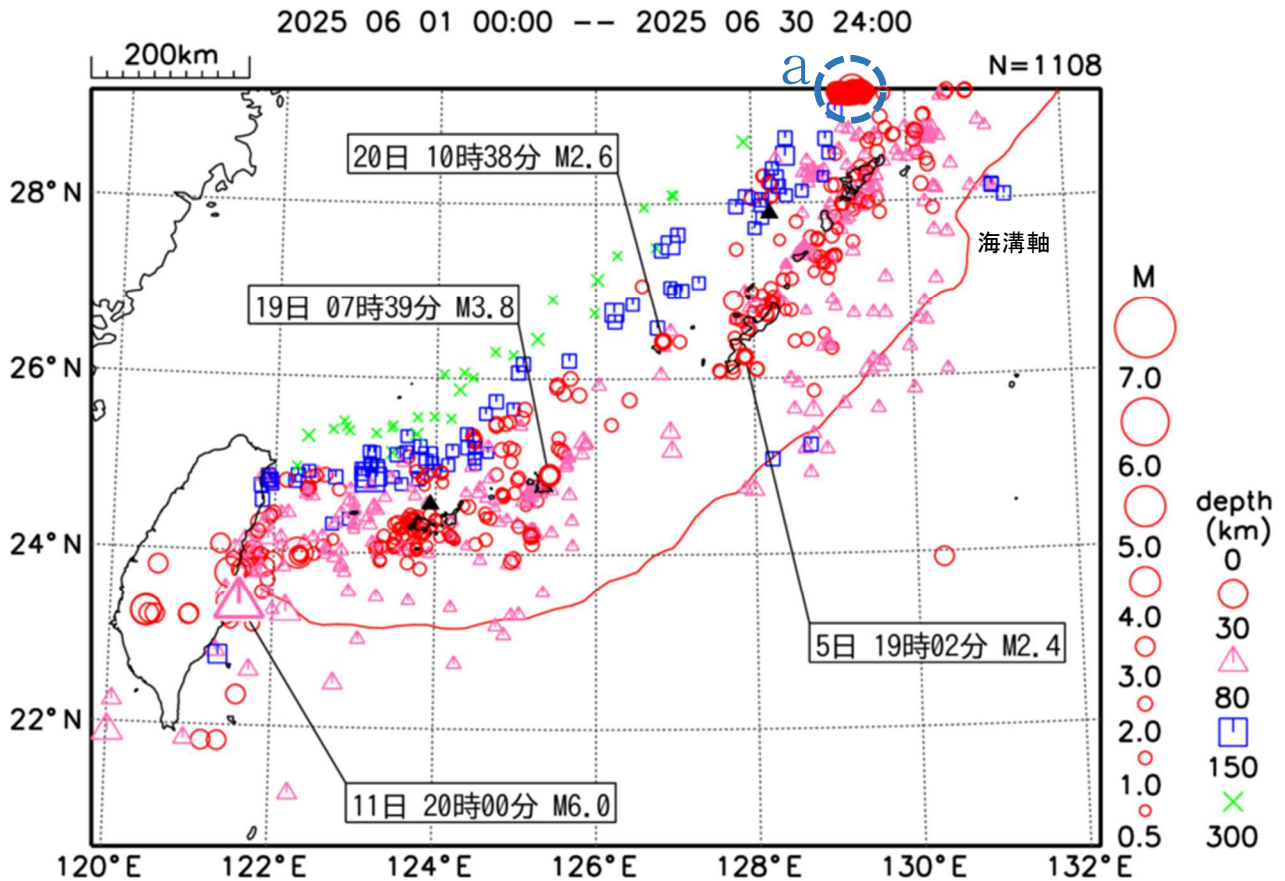


沖縄地方の地震活動

令和7年（2025年）6月

沖縄気象台

図1 沖縄県及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
▲：活火山

沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度1以上を観測した地震は4回（5月は3回）でした。

6月の主な活動は次のとおりです。

11日20時00分台湾付近の地震（M6.0、深さ38km）により与那国島から石垣島にかけて震度2～1を観測しました（別紙参照）。

トカラ列島近海（図中の領域a）では、6月21日から活発な地震活動が続いています。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

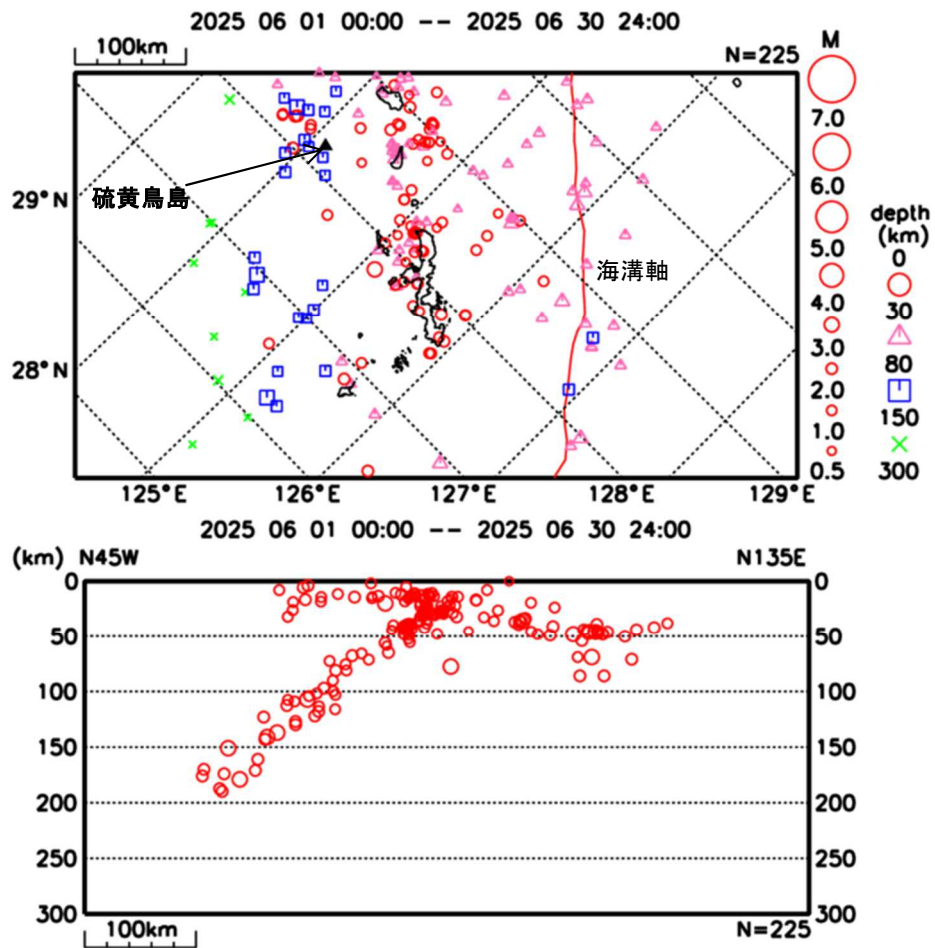


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

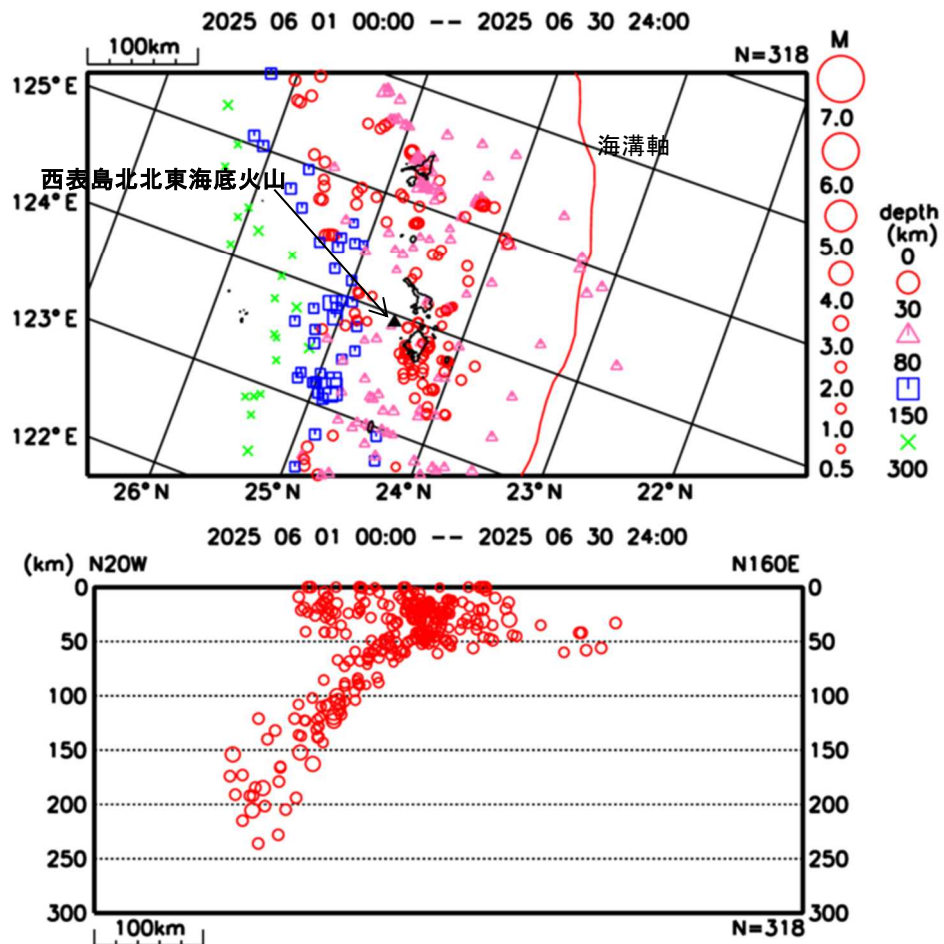
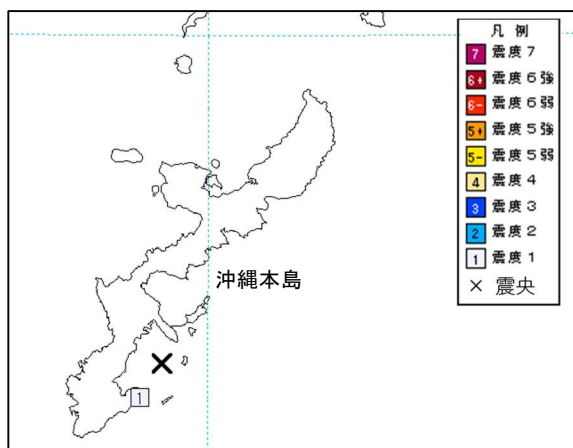
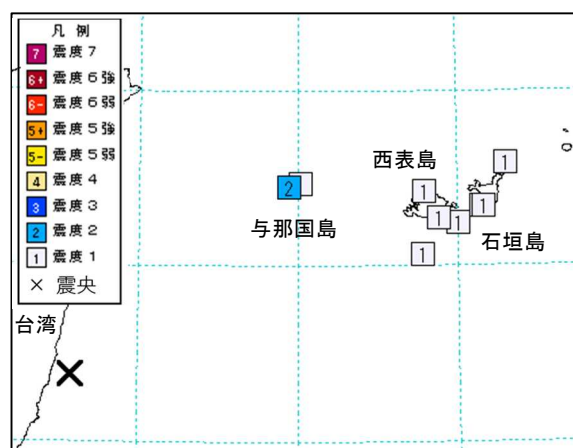


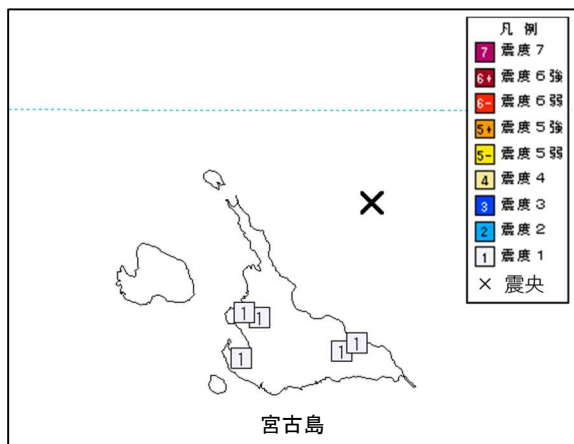
図3 震度分布図



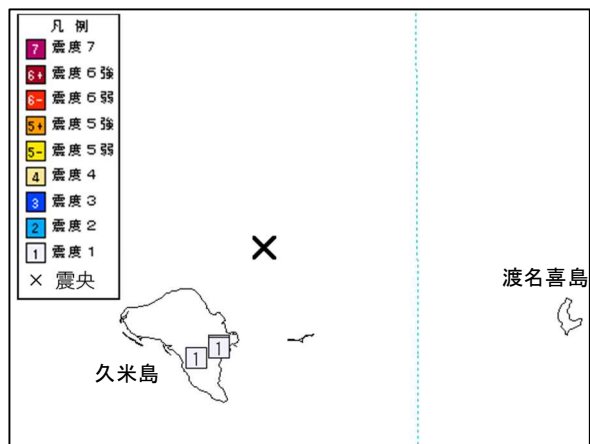
6月5日19時02分 沖縄本島近海 深さ14km M2.4



6月11日20時00分 台湾付近 深さ38km M6.0



6月19日07時39分 宮古島近海 深さ28km M3.8



6月20日10時38分 沖縄本島近海 深さ14km M2.6

表 1 沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震の表（期間 6 月 1 日～ 6 月 30 日）

震源時 各地の震度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2025年06月05日19時02分 沖縄県 震度 1：南城市知念久手堅＊	沖縄本島近海	26° 14.8' N	127° 53.0' E	14km	M2.4
2025年06月11日20時00分 沖縄県 震度 2：与那国町久部良 震度 1：石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市新栄町＊, 与那国町祖納, 竹富町大原, 竹富町黒島, 竹富町波照間, 竹富町上原小学校	台湾付近	23° 22.6' N	121° 35.3' E	38km	M6.0
2025年06月19日07時39分 沖縄県 震度 1：宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西＊, 宮古島市下地＊ 宮古島市平良西里＊	宮古島近海	24° 54.4' N	125° 25.3' E	28km	M3.8
2025年06月20日10時38分 沖縄県 震度 1：久米島町山城, 久米島町謝名堂, 久米島町比嘉＊	沖縄本島近海	26° 25.7' N	126° 51.0' E	14km	M2.6

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927

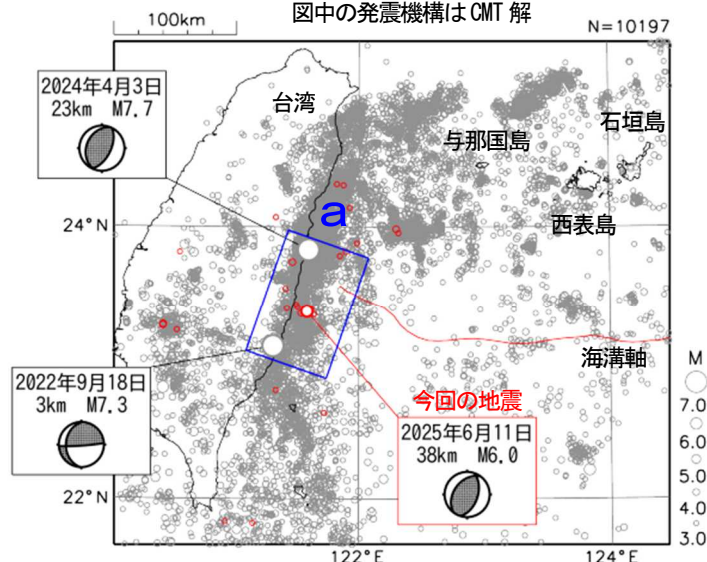
6月11日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2025年6月30日、
深さ0～300km、 $M \geq 3.0$)

2025年6月の地震を赤色で表示

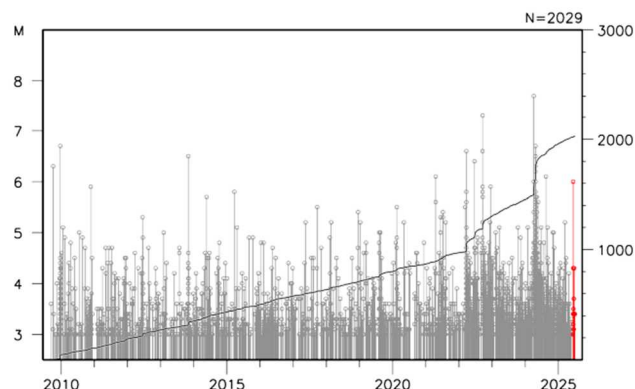
図中の発震機構はCMT解



2025年6月11日20時00分に台湾付近の深さ38kmで $M 6.0$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、2022年9月18日の $M 7.3$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）が発生したほか、2024年4月3日の $M 7.7$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度4）では、与那国島久部良で27cm、宮古島平良で25cm、石垣島石垣港で17cmの津波を観測した。

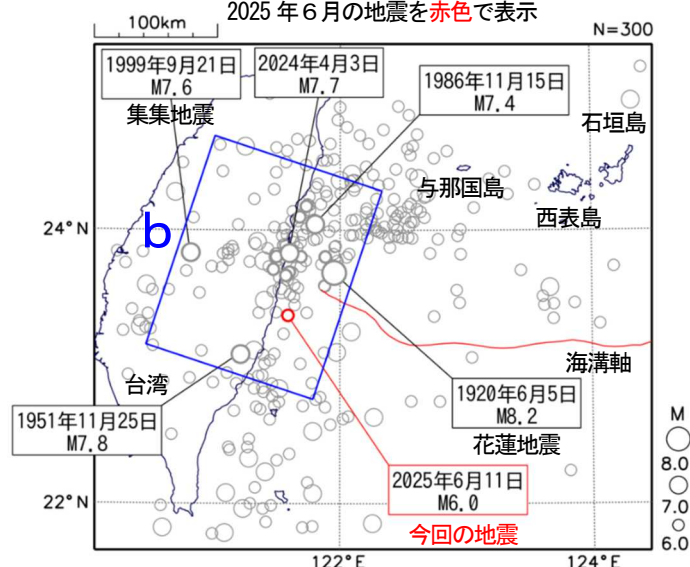
領域a内の回数積算及びM-T図



震央分布図

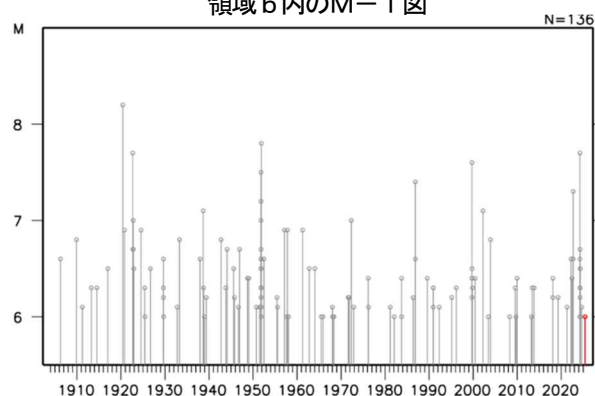
(1904年1月1日～2025年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2025年6月の地震を赤色で表示



2020年までの震源要素はISC-GEM
2021年以降の地震の震源要素は気象庁による

領域b内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去に $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。1920年6月5日に花蓮地震（ $M 8.2$ ）が発生し、台湾では死者5人、負傷者20人などの被害が生じた。1986年11月15日の $M 7.4$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害が生じた。1999年9月21日に集集地震（ $M 7.6$ 、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた。

（被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による）



沖縄県に住んでいると、普段の生活で火山を意識することは少ないと思いますが、県内には、2つの活火山があります（2025年6月現在、火山活動は静穏な状況で、噴火の兆候は認められません）。概ね過去1万年以内に噴火した火山や現在活発な噴気活動のある火山を活火山と定めています。世界に約1500の活火山があり、そのうち日本には111の活火山があって日本は世界でも有数の火山国と言えます。

8月26日は「**火山防災の日**」です。噴火災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山防災情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。

「**火山防災の日**」をひとつのきっかけとして、火山災害に備えておきましょう。

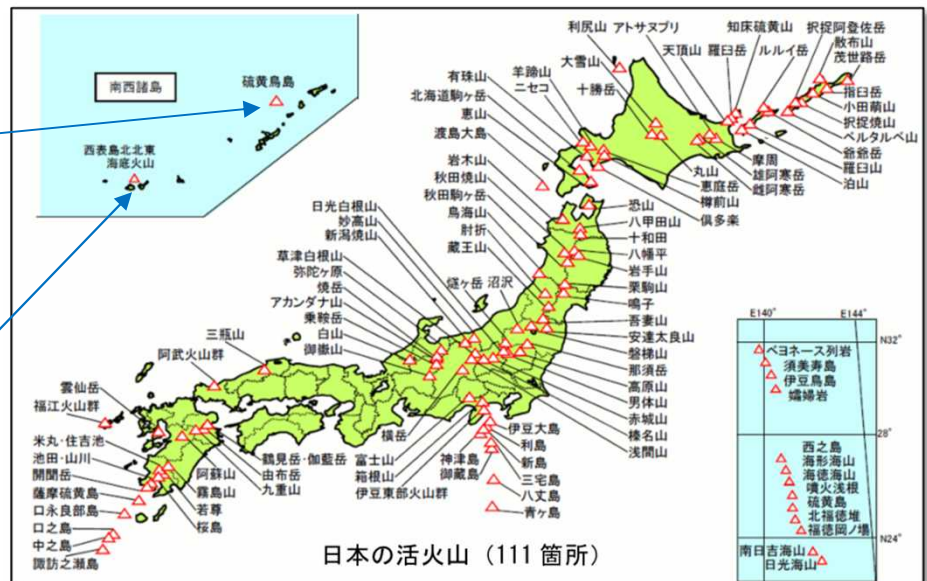
沖縄にある活火山

・硫黄島

1959年の噴火では、島民86人が島外（久米島）に移住した。現在は無人島。

・西表島北北東海底火山

1924年10月31に突如噴火。多量の軽石が排出され、付近の海面一体を埋め尽くし、その後黒潮の流れで日本各地に漂着した。



硫黄島



海上保安庁撮影



○沖縄气象台「**火山防災の日**」の特設サイト

8月26日を「**火山防災の日**」とした理由

明治44年8月26日、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、観測が始まった日にちなみます。

沖縄にも硫黄島、西表島北北東海底火山の2つの活火山があります。この特設サイトで、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えていただければと思います。



●「**火山防災の日**」特設サイト（気象庁HP）

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>



地震に関する情報は
沖縄气象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄气象台

Q 検索

